



徳島県歯科医師会口腔保健センター部長 佐藤修齋 さとうしゅうさい

Dr. 佐藤の 歯医者さんは今

Vol.37

”入れ歯ケア“ワンポイントシリーズ①

『入れ歯は

義歯用ブラシで

しっかりと、磨きましよう』

現在、放映中のCM。

『あなたは、入れ歯を歯磨き粉で磨いていませんか？』

『その研磨剤がつけたキズは、細菌の温床です』

『それは、臭いの原因にも…』

このCMのねらいは、「歯磨剤で磨き過ぎずに義歯洗浄剤を使用しましょう」ということなのですが、「入れ歯をあまり磨いてはいけない」というふうにも聞こえます。

たしかに義歯洗浄剤の必要性については、本誌でも何度も述べてきましたが、義歯洗浄剤の使用（化学的清掃）の前に、必ず義歯用ブラシでよく磨くこと（機械的清掃）

が重要です。

市販されているほとんどの義歯用ブラシには、白っぽい軟毛と黒っぽい硬毛の二種類が付いています。総入れ歯なら、軟毛は外側の平坦な面を（写真1）、硬毛は内側の深い溝になった部分を（写真2）、磨きやすいようになっています。

義歯用ブラシは、普通の歯ブラシと違って、五百円くらいで約1～2年は使えます。

この義歯用ブラシを使って、何もつけずに流水下でよく磨いてください。どうしても何かつきたいなら、台所用中性洗剤がお勧めです。

これまでの著者の経験で

は、磨き過ぎてキズがついている入れ歯を見たことがあります。磨き不足の入れ歯がほとんどです。

洗浄剤を使う場合も、まずは義歯用ブラシでしっかりと磨きましよう。

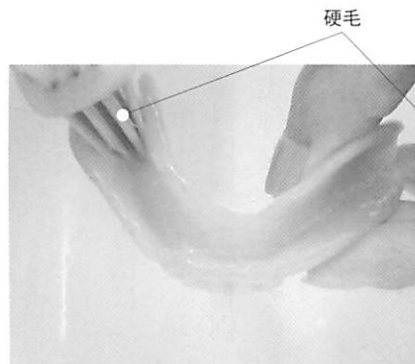


写真2:黒っぽい硬毛で、義歯の裏側を磨きます。



写真1:白っぽい軟毛で、義歯の表側を磨きます。